

第3回

# カジノ・デベロップメント & マネジメント講座

日時  
2/24  
(月)

10:00~18:30



会場

日本大学桜門会館

東京都千代田区五番町2-6  
JR市ヶ谷駅から徒歩2分



受講料

50,000円



定員 100名

定員に達した時点で締切させていただきます。  
※最少催行人数20名(満たない場合は、セミナーを開講しないこともあります。)

昨年12月5日に特定複合観光施設区域の整備の推進に関する法律案(通称 IR 推進法案)が国会に上程され、本年通常国会において審議・可決される可能性が高まっている。これに伴い、我が国におけるカジノを実現する制度的枠組みの議論が活発化することが予想される。法案が想定している統合型リゾート(IR)とは、カジノ、ホテル、レストラン、エンターテインメント、MICEなどの施設が組み合わさり、顧客のニーズに合わせて「統合的な体験」を販売することで収益を得るビジネスモデルであり、当然ではあるがお金を印刷する「魔法の箱」ではない。

但し、IRという言葉のみが先行し、カジノやカジノを含む統合型リゾートにつき、正しい知識が共有されているとも思えない。日本各地の強みを生かし、国際的・長期的に競争力があるカジノを含む統合型リゾートを創るためには、今一度、カジノ収益に深く関わるサービス構造を理解し、これらに関わる国内外の法律や文化的背景と現状、これから検討されるカジノ法案を総合的に理解すべきであると考える。

世界の統合型リゾート型カジノにおいてはどのような制度が存在し、如何なる実践がなされているのか、日本におけるカジノを成功に導くためには何が必要なのか、また、現行の法体系ではどのようなサービスを提供することに制度的課題があるのか等、これらの分野のエキスパートを講師に招き、実戦的、且つアカデミックな講義により、将来の我が国におけるカジノ産業の実務者を育成することが本講座の狙いである。

## 講習内容

|  | テーマ  | 講師   | ※同時通訳付き            |
|--|--|--|--------------------|
| 10:00~10:10  | イントロダクション  |  |                    |
| 第1講  | IRカジノ：制度の在り方と課題<br>- コンブやローリング、クレジット等顧客<br>インセンティブプログラムに係る実践と制度的課題 -           | 大阪商業大学 客員教授<br>アミューズメント産業研究所 所長                | 美原 融               |
| 10:10~10:40  |  |  |                    |
| 諸外国のカジノにおいて慣行として根付いている手法や考え方の一部には、我が国において単純には実現できないものがある。何が課題となり、今後何が議論されるべきかを概説する。  |  |  |                    |
| 第2講  | 世界の統合型カジノの動向と我が国のギャンブル市場<br>- 世界のIR型カジノの売上と収益構造の特徴、<br>日本におけるギャンブル市場とカジノの可能性 - | ゴールドマン・サックス証券株式会社<br>投資調査部 アソシエイト ゲーム・アナリスト    | 杉山 賢               |
| 10:45~11:40  |  |  |                    |
| 世界のカジノ市場の現状、特にアジアにおける熾烈な市場間競争と日本に求められる競争優位性、日本のカジノの市場性の評価、ギャンブルや遊技等の市場にどのような影響が予想されるか、民営カジノ市場への民間事業者の参入条件を株式アナリストの視点から説明する。  |  |  |                    |
| 11:40~12:30  | 昼休憩  |  |                    |
| 第3講  | 統合型施設における監視システムと顧客の導線<br>- 施設の安全管理や顧客の導線分析に関する<br>最新のテクノロジー -                  | 富士通株式会社 官公庁営業本部<br>エキスパート                      | 相原 卓               |
| 12:30~13:25  |  |  |                    |
| 巨大施設における監視体制は顧客の安全を守るために重要な事項である。また、施設内における顧客の導線もビジネスを成功させるため分析されるべき事項となるが、巨大施設の監視・管理と顧客の動きを分析するための最新技術を説明する。  |  |  |                    |
| 第4講*   | なぜ、統合型リゾートはカジノではないのか?<br>- ケーススタディ “マリーナベイサンズ” -                               | シンガポール大学リーカンユー公共政策大学院<br>教授                    | Dr. Tan Khee Giap  |
| 13:30~14:55  |  |  |                    |
| 統合型カジノは単なるカジノ施設ではない。ゲーミングライセンスが承認・付与される条件は、“統合型カジノがどのくらいの収益性をもたらすか”のみで判断されず、それら統合型カジノがもたらす経済効果や、雇用機会増大、ツーリズムに対する刺激、航空産業などの輸送業界への影響、その他社会に与える様々な効果を総合的な判断基準とする。シンガポールにおける統合型カジノがオープンして3年以上となるが、それらがもたらす経済効果とデメリット対策はバランスよく管理されている。統合型カジノの在り方と政府の管理体制について説明する。 |  |  |                    |
| 第5講*   | 中国人VIPに対するクレジットと回収<br>- カジノの売上に強い影響を与える中国人富裕層に対する<br>クレジットとその回収の実態と課題 -        | マカオ大学<br>教授                                    | Dr. Jorge Godinho  |
| 15:00~16:25  |  |  |                    |
| カジノの売上増加のためには上客に対するクレジット(信用貸し)の提供は重要戦略の1つである。マカオを訪れる中国人VIP顧客に対するクレジットの提供はどのように行われているのか。また、制度的背景はどうなっているのか、それらの貸付金の回収の実情と課題などを説明する。講師はマカオ大学においてカジノ法を専門とする第一人者。  |  |  |                    |
| 第6講*   | 統合型カジノの制度設計：日本はどうあるべきか<br>- シンガポールや米国マサチューセッツ州における<br>IR型カジノの制度設計とあるべき日本の方向性 - | 米国 スペクトラム・ゲーミンググループ社 社長<br>(元米国ニュージャージー州検事総長補) | Mr. Fredric Gushin |
| 16:30~17:55  |  |  |                    |
| 過去ニュージャージー州アトランチック市のほぼ全てのカジノライセンス付与に公安当局の立場から参加し、近年はシンガポール政府や米国マサチューセッツ州政府の制度設計に関し、アドバイザーを務めた講師が、公的部門の立場からIRの制度設計はどうあるべきか、近年における先進諸外国の制度構築の傾向は如何にあるのか、日本は如何なるIR法の制度設計をなすべきかを解説する。  |  |  |                    |
| 18:00~18:30  | 総括&修了証付与   | 大阪商業大学 学長                                      | 谷岡一郎               |

# \*\*\*\*\*講師プロフィール\*\*\*\*\*

## 美原 融 (みはら とおる)

大阪商業大学 客員教授、アミューズメント産業研究所 所長

一橋大学経済学部卒。三井物産、三井物産戦略研究所を経て、大阪商業大学客員教授、東洋大学大学院客員教授、株式会社美原融事務所代表取締役。専門は公民連携制度手法論。過去に政府省庁・自治体における様々な公民連携制度に関する委員会、研究会委員等を歴任。

## 相原 卓 (あいはら たかし)

富士通株式会社 官公庁営業本部 エキスパート

1979年富士通入社、公営競技関連のシステムエンジニアとして従事。JRAをはじめ国内公営競技場の発売システム（トータルリゼータシステム）の設計・開発・保守を主に実施。2001年より JAPIC 複合観光事業研究会に参画し、カジノにおけるICTの在り方を調査・研究。2010年から2012年まで、富士通にてトータルリゼータ・アミューズメント事業本部長。現在は公営競技業界およびカジノビジネスのコンサルタントとして活動している。

## Dr. Jorge Godinho

マカオ大学 教授

専門領域はマカオゲーミングにおける法制度と法律、ゲーミングから生じる負債に関わる法律、ゲーミングマシン（スロットマシン）、プロモーション（広告）、マネーロンダリング（犯罪）など。ゲーミングに関する法律分野で多くの本を出版し、ゲーミング専門誌である「The Gaming Law Review and Economics」、「International Masters of Gaming Law」の編集メンバーである。現在、マカオ、香港、東京、シンガポール、ラスベガス、レイクタホ、台湾、パルセロナ、など多くの国で講演活動を行うと共にアドバイザーとして活躍している。

## 杉山 賢 (すぎやま まさる)

ゴールドマン・サックス証券株式会社 投資調査部アソシエイト ゲーム・アナリスト

早稲田大学国際教養学部卒。2010年ゴールドマン・サックス証券入社。投資調査部において、メディア、インターネットセクターの担当を経て、2013年8月よりゲームセクターを担当。2012年より国内のゲーミング市場の調査を担当。

## Dr. Tan Khee Giap

シンガポール大学リーカンユー公共政策大学院 教授

様々なシンガポール政府機関（財務省、経済産業省、文化&音楽、シンガポールツーリズム委員会、情報省、メディア開発委員会、貿易、保険、空港）に対してコンサルタントとして活躍すると共に、国際的な活動を行う組織や企業（アジア開発銀行、アジア開発銀行研究所、ラスベガスサンス）に対しても様々な分野においてコンサルティングを行っている。シンガポールカジノの合法化に際し、同国政府やカジノ企業にアドバイスを行った統合型カジノ（IR）のエキスパート、第一人者。

## Mr. Fredric Gushin

米国 スペクトラム・ゲーミンググループ社 社長（元米国ニュージャージー州検事総長補）

一貫して公安関係の職歴を持ち、元米国ニュージャージー州検事総長補としてアトランチック市カジノの免許付与等に係ってきた。その後コンプライアンス関係で民間企業を支援すると共に、国や政府等の公的部門を支援するコンサルタント、アドバイザーとして著名。米国の様々な州、シンガポール政府等も詳細制度設計や諸外国との意見交換等に同社を起用したという経緯があり、この他、南アメリカ、カリブ海諸島、オーストラリア、アジアなどでもゲーミングに関するコンサル業務を展開する。

# \*\*\*\*\*受講申込書\*\*\*\*\*

申込締切日：平成26年2月14日(金) [定員になり次第締め切ります]

**FAX: 06-6618-4069 Eメール: amuse@oucow.daishodai.ac.jp**

### お申し込み 手続きの流れ

受講申込書に、必要事項をご記入の上、  
お申し込みください。



受付後、関係資料を送付（FAX  
またはEメール）します。

●下記の用紙にご記入の上、FAXまたはEメールにてお申し込みください。

|                 |              |  |      |
|-----------------|--------------|--|------|
| フリガナ            |              |  |      |
| 申込者氏名<br>(代表者)  |              |  |      |
| 所属              | 部署名：         |  | 役職名： |
| 所在地             | 〒            |  |      |
| TEL             | 携帯           |  |      |
| FAX             | e-mail       |  |      |
| 申込人数<br>(申込者含む) | 申込者以外<br>の氏名 |  |      |

※ 複数名お申し込みの場合は、全員の数と申込者以外全員の氏名をご記入ください。

尚、複数名受講の場合、2人目以降の受講料は 30,000 円 / 1 名となります。

※ 行政機関に所属される方の受講料は、20,000 円 / 1 名となります。

### 会場への アクセス

### 日本大学桜門会館 東京都千代田区五番町 2-6

- JR 中央線・総武線「市ヶ谷」駅下車 徒歩2分
- 都営地下鉄新宿線、東京メトロ有楽町線・南北線「市ヶ谷」駅下車 3番出口 徒歩1分

### お問い合わせ

### 大阪商業大学 アミューズメント産業研究所

〒577-8505 大阪府東大阪市御厨栄町 4-1-10 ☎ 06-6618-4068

FAX : 06-6618-4069 E-mail : amuse@oucow.daishodai.ac.jp

※ご記入いただきました個人情報は、請求書の送付等に利用させていただきます。

また、本学主催のイベント等のご案内をさせていただく場合があります。

なお、これらの情報提供が不要な場合は右記  欄に  印をご記入ください。

情報提供不要

